

株式会社コックス

2022年2月期 第2四半期決算発表

代表取締役社長 三宅 英木

2021年10月6日

(要約) 第2四半期累計期間 連結損益計算書

減収・減益 **長引く感染拡大の影響により売上減収。
売上減収に伴う売上総利益減少により減益。**

(単位：百万円、%)

	実 績	前年比	前年差	前年実績
売上高	6,118	78.3%	▲1,696	7,815
売上総利益率	55.9	—	+4.3p	51.6
営業利益	▲955	—	▲626	▲329
経常利益	▲931	—	▲686	▲245
当期純利益	▲986	—	▲1,854	867

※当年は、特別損失30百万円を計上。

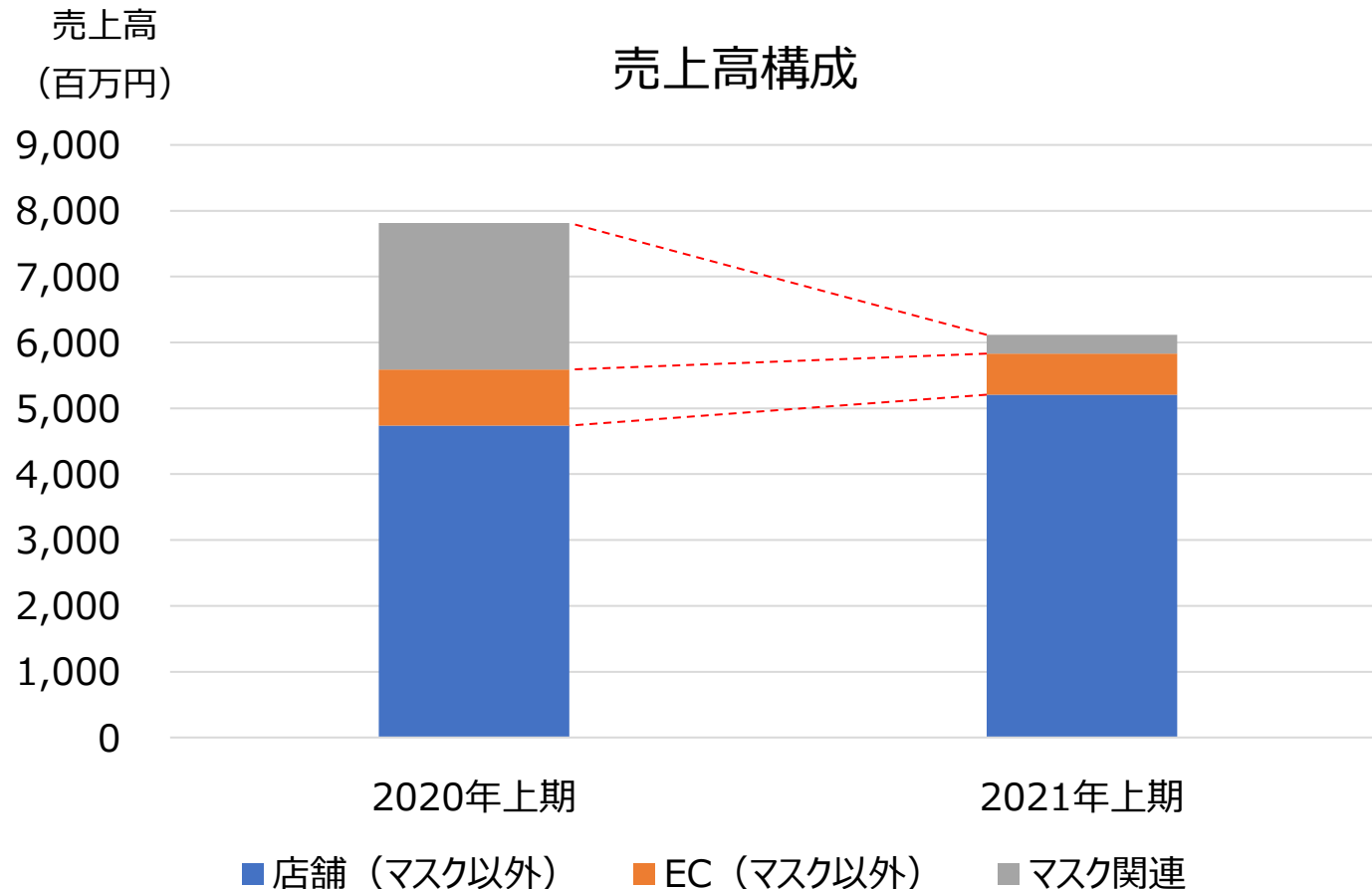
※前年は、有価証券売却益1,302百万円を特別利益として計上

閉店	4 店舗	8 月末店舗数	208店舗
----	------	---------	-------

収益構造の変化

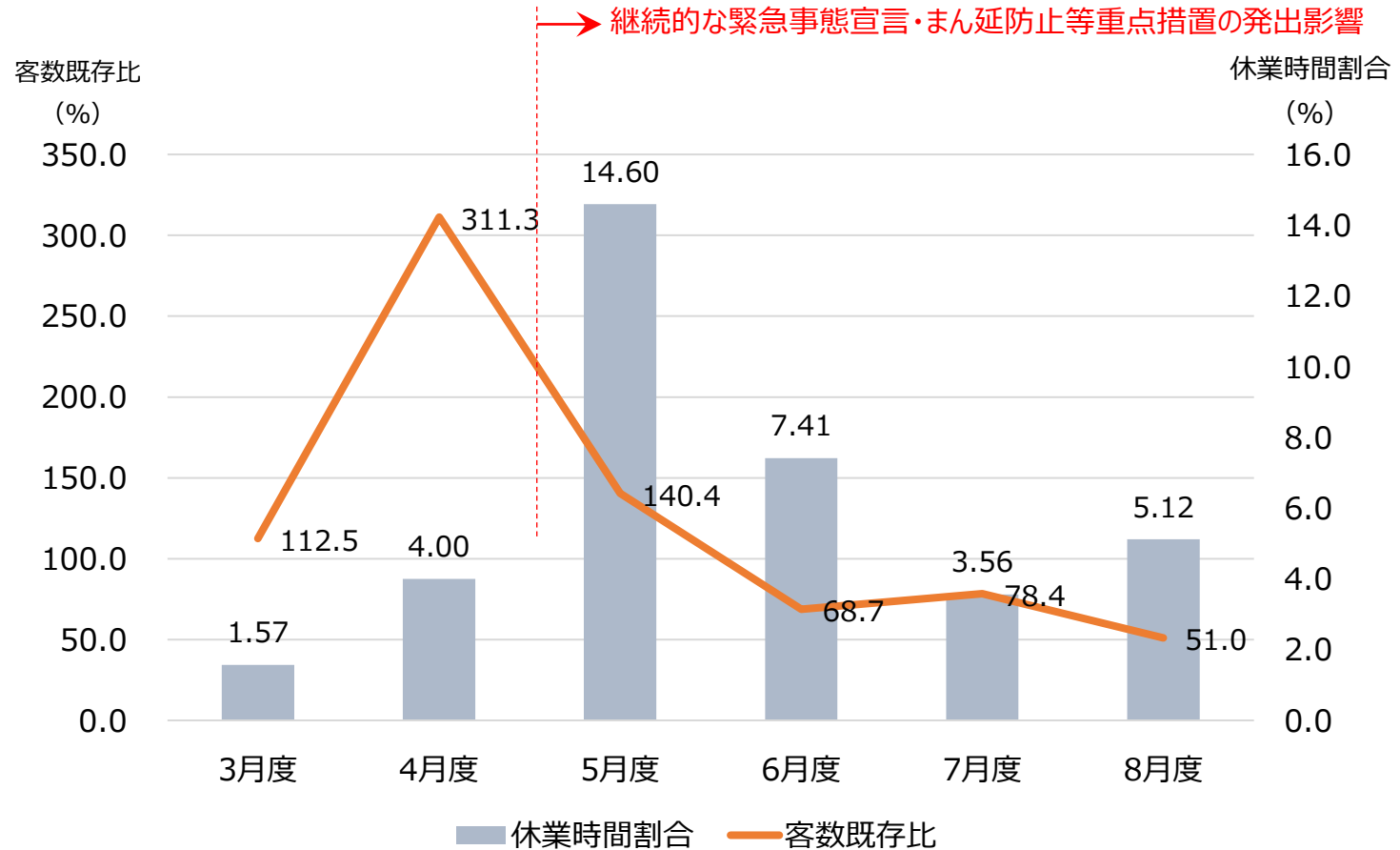
減収の主な要因

1. 店舗売上の回復の遅れ
2. マスク需要の急激な変化



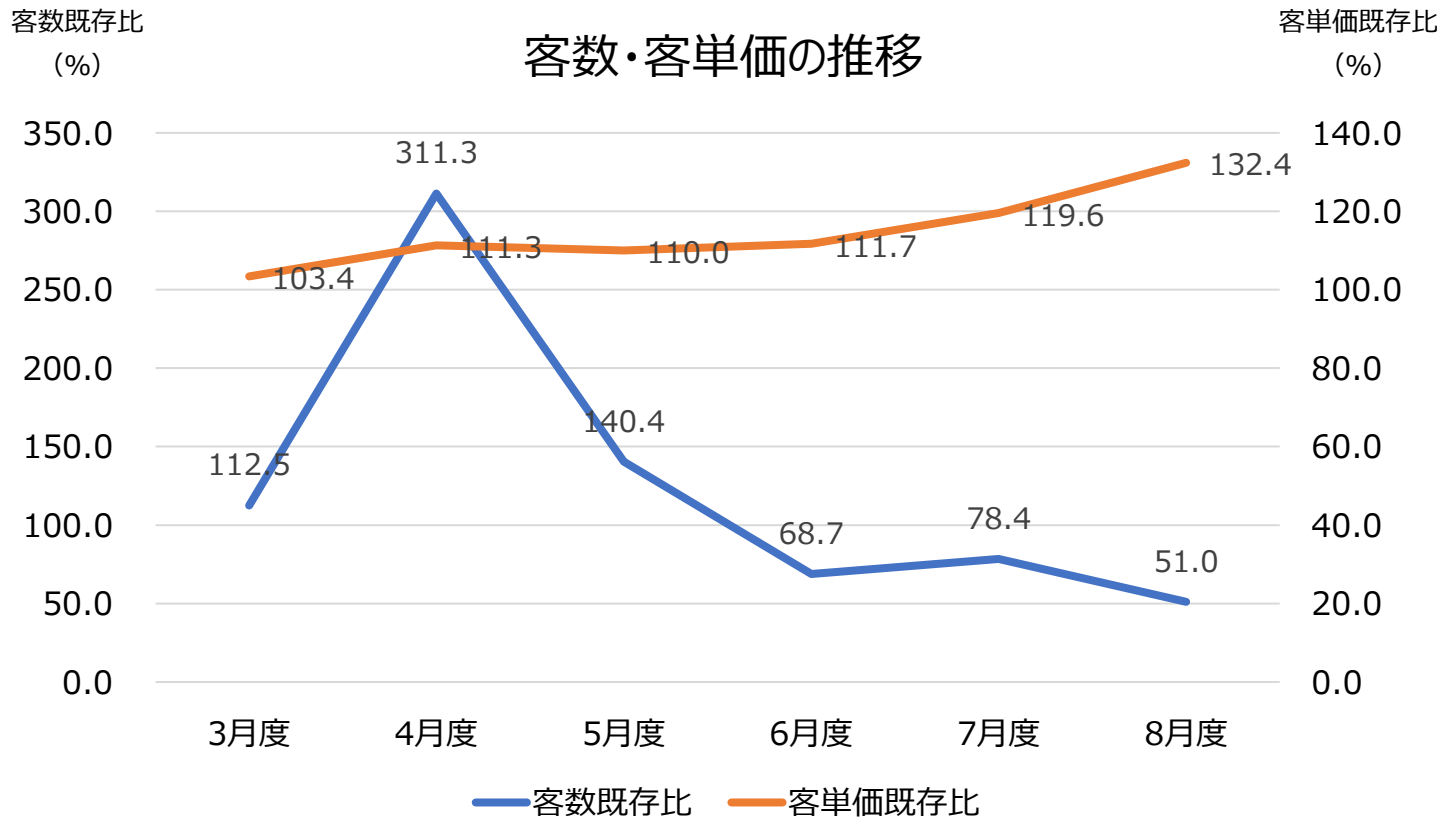
商業施設の休業・時短の影響（営業時間への影響）

上期を通じた休業・時短営業による客数減が売上に影響



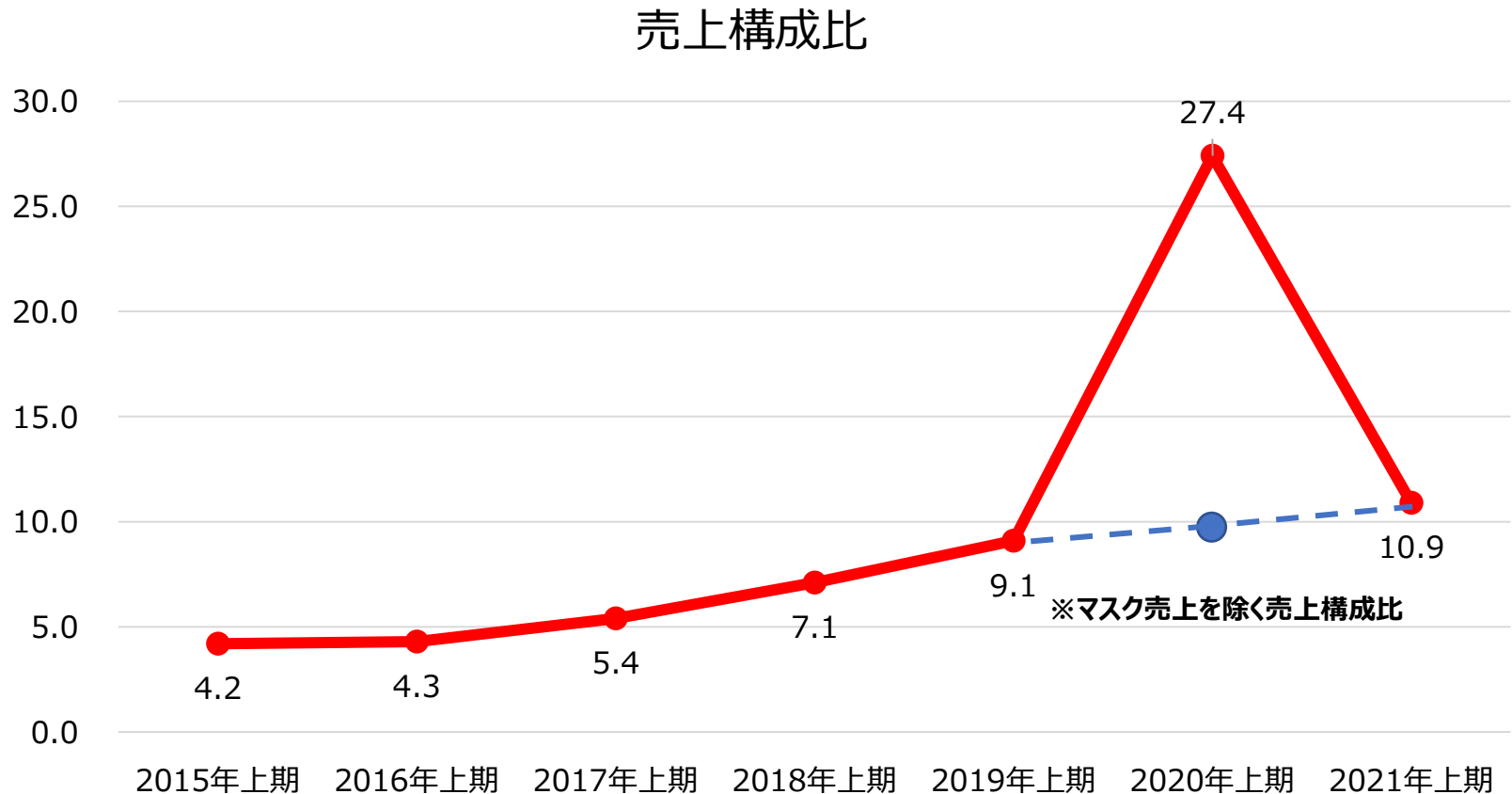
既存店 客数・客単価の状況

客数減の状況から、客単価アップ施策を実行
上期 客単価既存比120.8%（客数既存比90.0%）



EC売上高構成比の推移

EC売上高構成比は、20年上期のマスク売上の影響を除くと、
年々増加傾向だが、微増。



売上総利益率の改善

仕入コントロールとプロパー販売重視の売り方改善により、
売上総利益率は前年から改善

	実績	前年差
売上総利益率	55.9%	+4.3p

棚卸資産（期末在庫）の削減

（単位：百万円）

	実績	前年差
棚卸資産	1,819	△378

(要約) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

資産の部	実 績	前期末差
流動資産	6,742	▲837
固定資産	5,071	▲46
資産合計	11,814	▲883

負債の部	実 績	前期末差
流動負債	4,157	+216
固定負債	1,293	▲69
負債合計	5,451	+147
純資産の部	実 績	前期末差
純資産合計	6,363	▲1,030
負債・純資産 合 計	11,814	▲883

(要約) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第2四半期 連結累計期間	前第2四半期 連結累計期間
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲2,131	507
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲65	1,919
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,899	1,900
現金及び現金同等物の増減額	▲290	4,323
現金及び現金同等物の期首残高	4,629	1,990
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,339	6,314

下期の重点取組について

プロパー販促施策の実施

雑誌掲載 タイアップ企画

第1弾 10月7日発売予定号

第2弾 11月5日発売予定号

著名タレントを起用した雑誌タイアップ広告を実施

著名タレント着用の特大大パズトリーを店頭掲示



(※写真はイメージです。)

- 
- ・当社商品の認知度向上
 - ・新たな客層の取り込み

ライフスタイルショップの水平展開

「ikkaアパレル + LBC 雑貨」のニューライフスタイルショップの展開

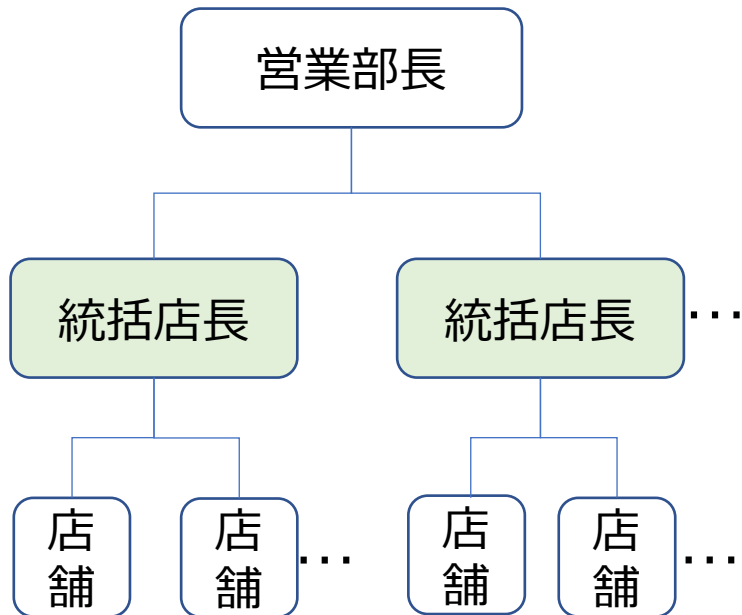


ikka東小金井店で実験。7/30オープン。減坪改装:95.9坪→56.7坪
 売上前年比 8月度101.1%、9月度（9/20日時点）100.7%

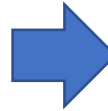
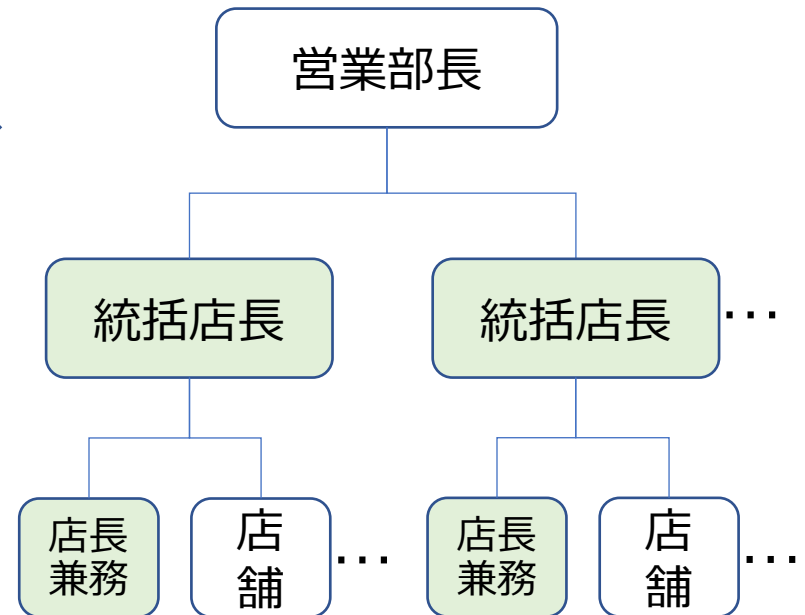
店舗販売力の再強化

エリア店長制（統括店長の店長兼務）による店舗販売力強化

これまでの運営



21年10月からの運営



EC事業の再構築

1. 体制の見直し

- ・9/1付けで、代表取締役がデジタル推進本部長を兼任
- ・専門人材の再配置による運営の強化

2. Web広告の強化、新規会員獲得を最重視

- ・Web広告（初回購入キャンペーン）の強化による流入増
- ・Webファミリーセール開催等による新規会員の獲得

3. DtoCブランドの強化

- ・体制の強化（DtoC運営部設立）
- ・感染症拡大に伴い、滞っていた仕入の再開

4. 新たなWeb限定商材（新ブランド）の仕入れによる売上嵩上げ

- ・NB新ブランドの追加投入

DXの推進と業務の効率化

RFID棚卸による店舗作業の効率化

実施店舗数	190店舗	※9割超の店舗で実施
平均店舗作業時間	△ 15.7時間	※事前準備時間を含む
RFIDタグ取付率	85%	※一部雑貨商品でRFIDタグ未導入

店舗システム入替に伴う作業効率化

(※ 第4四半期に導入・実験開始予定)

- | | | |
|---|--------------------------|-------------------------|
| 1 | RFID活用によるDX推進 | レジ台に置くだけで商品読み取り完了、会計処理へ |
| 2 | 店舗スタッフの負担軽減 | 点検作業・精算業務短縮による労働時間の削減 |
| 3 | 店舗データのリアルタイムな見える化 | 売上・在庫情報などのリアルタイムでの見える化 |

今後の目指す方向

【目指す姿】

お客さまの新生活を応援する魅力No.1 の
「Beautiful Life Innovator（新生活提案企業）」

【重点戦略】

1. ブランド力強化とMD改革による荒利率の改善
2. オムニチャネル推進強化、EC運営改善によるEC売上拡大
3. 売り方改革・売場改革による店舗売上の回復

2022年2月期連結業績予想

2022年2月期連結業績予想

(単位：百万円)

	前回発表予想	今回発表予想	前回比・差	前年比・差
売上高	18,400	13,400	72.8% ▲5,000	82.1% ▲2,909
営業利益	100	▲1,200	▲1,300	▲508
経常利益	120	▲1,180	▲1,300	▲585
当期純利益	▲50	▲1,700	▲1,650	▲2,249

ご静聴頂き誠にありがとうございました。
ご意見・ご質問につきましては、
下記にお問い合わせ頂きます様お願い致します。

□業績予想に関するご注意

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する事項は、当社が資料作成時点で
入手した情報に基づき判断した見込みであり、その情報の正確性を保証するものではありません。
今後、様々な要因の変化により、実際の業績とは異なる可能性があることをご承知置きください。

□数値表記について

資料内の数値は百万円未満を切り捨て、比率は小数点第2位を四捨五入して表示しております。

<お問い合わせ先>

財経・物流本部長 高橋

TEL : 03-5821-6070 / FAX : 03-5821-1031

<http://www.cox-online.co.jp/>